

第4回 安来市総合計画審議会 議事要旨

1. 開催概要

日 時 令和7年8月25日（月）14：00～15：30

会 場 安来市役所安来庁舎 3階 防災対策室

出席者 以下のとおり

【審議会委員（出席：12）】

（敬称略）

所 属	役職	氏 名	区分	備考
学識経験者		勝部 慎哉	学識	
島根県立大学	准教授	高須 佳奈	学識	
学識経験者		野々村 千映子	学識	
米子工業高等専門学校	准教授	川戸 聡也	学識	
安来商工会議所	事務局長	渡部 仁	産業 （商工）	
島根県農業協同組合やすぎ地区本部	企画総務部長	矢田 篤	産業 （農業）	欠席
社会福祉法人 安来市社会福祉協議会	副会長	小松原 勝之	医療・福祉	
安来市自治会代表者協議会		矢田 洪介	市民団体 （自治会）	
安来市労働組合協議会	議長	松田 英樹	労働団体	欠席
安来市観光協会	会員	醍醐 靖幸	産業（観光）	欠席
一般社団法人 安来青年会議所	理事長	矢田 敦子	産業	欠席
安来市子ども・子育て推進会議	委員	角 陽子	市民団体 （子育て）	
安来市 PTA 連合会	家庭教育委員長	来海 雄馬	市民団体 （教育）	欠席
やすぎボランティア団体ネットワーク	会長	板持 潤一	市民団体 （NPO）	
松江公共職業安定所安来出張所	所長	中村 明臣	官公庁 （労働）	欠席
安来金融会	幹事	重道 直樹	金融機関	
株式会社山陰中央新報社	米子総局長	藤井 満弘	言論	欠席

一般公募		寺田 琢磨	一般	
一般公募		石田 優美	一般	欠席
一般公募		中村 高志	一般	

【事務局】

部 署	職 名	氏 名	備考
安来市政策推進部 政策企画課	部長	宇山 富之	
〃	課長	松崎 理泰	
〃	係長	吉原 秀和	
〃		清水 仁志	

【委託事業者】

会社名	氏 名
株式会社エブリプラン	森田俊作、鶴見太郎、加納里彩

2. 議事次第

- 1) 開会
- 2) 会長あいさつ
- 3) 報告
 - (1) タウンミーティングの開催結果について【資料1】
- 4) 議事
 - (1) 第3次安来市総合計画基本構想（案）について【資料2】
 - (2) 第3次安来市総合計画基本計画（案）について【資料3】
 - (3) 第3期安来市まち・ひと・しごと総合戦略の作成方針について【資料4】
- 5) その他
- 6) 閉会

3. 配布資料

- ・ 次第
- ・ 審議会委員名簿
- ・ 【資料1】タウンミーティングの開催結果について（報告）
- ・ 【資料2】第3次安来市総合計画基本構想（案）について
- ・ 【資料3】第3次安来市総合計画基本計画（案）について
- ・ 【資料4】第3期安来市まち・ひと・しごと総合戦略の作成方針について
- ・ 【資料5】今後のスケジュール

4. 報告

事務局より、資料に沿って説明を行った。

(1) タウンミーティング開催結果について【資料1】

<質疑応答>

なし

5. 議事

事務局より、資料に沿って説明を行った。

(1) 第3次安来市総合計画基本構想（案）について【資料2】

<質疑応答>

発言者	発言の要旨
委員	この冊子はどのくらいの期間使われるのでしょうか。基本構想の期間は10年ですが、冊子も10年間使用されるのですか。
事務局	冊子としては、基本構想と5年間の基本計画を一つにする予定です。ですので、冊子としては5年間使用するものとお考えください。ただし、基本構想の内容自体は10年間有効です。
委員	分かりました。最後のページに、ワークショップで出た『安来市のタカラモノ』『いいところ・自慢できるところ』が載っていますが、この内容は5年間更新されないという認識でよろしいでしょうか？
事務局	はい、冊子にするため、5年間は基本的にこの内容で変わりません。
委員	『ネットインフラが整っている』とありますが、これは市民の方がそう感じていらっしゃるのであれば良いのですが、実際のところ、安来市のネットインフラは他の自治体と比べてどうなのでしょう。実態として整っているのでしょうか。
事務局	市の全域に光ファイバー網を張り巡らせており、ハード面の整備は完了しています。ですので、基本的に市内どこにお住まいでもインターネットにアクセスできる環境であり、インフラは整っていると認識しています。
委員	安来市全域に光ファイバーが整備されているのですね。分かりました。もう一点、『キャリア教育』が良いところとして挙げられていますが、これは具体的にどういう意味合いで挙げられているのでしょうか。小中高生のふるさと教育のようなのでしょうか。
事務局	小学校から高校まで一貫したふるさと教育が最近実現できています。また、県立大学などと連携し、高校生などが様々な活動に参加できる環境が整ってきていることから、そういった意見が出たのではないかと考えております。
委員	説明を受ければ分かりますが、『キャリア教育』や『若者支援』といった項目は、パッと見ただけでは具体的に何かが分かりにくいと感じまし

	た。もう少し分かりやすい表現を検討していただけると良いかと思います。
事務局	ご意見ありがとうございます。分かりやすい表現を検討いたします。
委員	この冊子は、どのくらいの年齢の方を対象に想定されていますか。
事務局	特に年齢で分けてはいませんが、全市民を対象としています。
委員	専門用語にルビを振ったり、写真に簡単な説明を加えたりするなど、誰にでも分かりやすくする工夫が必要だと感じました。知らない人が見ても内容が伝わるようにした方が良いと思います。
委員	作成した冊子は各戸に配布するのでしょうか。
事務局	この冊子自体を全戸配布することは考えておらず、ホームページでのデータ公開が主になります。市民の皆様には、基本構想と基本計画を要約した概要版を別途作成し、配布する予定です。
委員	出雲市の例では、総合計画で具体的なチャレンジ目標や数値を掲げていて、市民にも分かりやすいと感じました。この基本構想案のイメージは素晴らしいのですが、具体的な数値目標と一緒に示されていないと、市民には伝わりにくいのではないのでしょうか。
事務局	作成予定の概要版は、基本構想と基本計画を合わせたものになります。基本計画の方には数値目標も掲載しますので、概要版ではそうした数値も視覚的に分かりやすく示す工夫をしたいと考えています。
委員	23,24 ページの『安来市のタカラモノ』のマップについて、家族と話していたのですが、例えば比婆山や清水寺の精進料理、清水羊羹といった要素も入れられないのでしょうか。この内容はもう確定なのでしょうか。
事務局	審議会でいただいたご意見も当然反映させるべきだと考えています。追加すべき特徴的なものがあれば、ぜひご意見ください。
委員	23 ページの『生活』の項目で『交通の便がよい』とありますが、これは米子・松江へのアクセスのしやすさを指しているかと理解しています。しかし、市内の交通網が十分に整っているかという疑問です。『交通の便がよい』という表現が、マイカーがなくても市内どこへでも簡単に行けるという誤解を生まないか懸念します。
事務局	ご指摘の点は、『米子・松江にアクセスしやすい』という意図で記載しています。確かに『住んでいてそんなに不便ない』という吹き出しの表現が、市内交通を指すのか、市外へのアクセスを指すのか分かりにくいかもしれません。表現を工夫したいと思います。
委員	地図の中の『民芸』で、河井寛次郎さんだけが記載されていますが、米原雲海さんなど、安来市には他にも多くの芸術家がいらっしゃいま

	す。名前を挙げ始めるときりがありませんが、一人だけの特記するのはどうなのかなと感じました。
事務局	ありがとうございます。『交通の便』の表現と、芸術家の記載方法について、ご意見として承り、検討させていただきます。
副会長	同じく 23,24 ページですが、右ページの『歴史・文化』というカテゴリーが少し見つけにくいと感じました。全体のレイアウトを調整して、全てのカテゴリーが目に入るようにしてはどうでしょうか。また、ここに載っていないものについて、『なぜうちは載っていないんだ』という意見が出るのが少し心配です。ワークショップで市民の皆さんと一緒に作ったというプロセスが分かるように、当日の写真などを加えることで、『市民の意見がベースになっている』ということを示すことも有効ではないかと思います。
事務局	ご意見ありがとうございます。デザインが洗練されるほど、市民参加のプロセスが見えにくくなるというご指摘、その通りだと思います。作成過程が見えるような工夫について検討させていただきます。

(2) 第3次安来市総合計画基本計画（案）について【資料3】

<質疑応答>

発言者	発言の要旨
副会長	計画には SDGs のアイコンが関連付けられていますが、SDGs の目標年は 2030 年です。この基本計画は 5 年間の計画ですが、SDGs との関連はどのように考えればよいでしょうか。まずは前半 5 年間で取り組む、という考え方でよろしいですか。
事務局	この基本計画は 5 年間の計画ですので、まずはこの 5 年間で SDGs の目標達成に向けて取り組んでいくという考え方はです。
委員	各節の『取組の方向』という部分の表現についてですが、少し弱い印象を受けます。現状の『～ができます』といった表現よりも、『～というふうにやります』といった、より具体的で力強い意志を示すような表現の方が、計画の実効性が伝わるのではないのでしょうか。
事務局	『取組の方向』は、いわば大項目としての方針を示しており、その下に具体的な事業内容が記載される構成になっています。
委員	構成は理解していますが、その大項目である方針の示し方として、もう少し力強い表現が良いのでは、という提案です。

(3) 第3期安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略の作成方針について【資料4】

<質疑応答>

発言者	発言の要旨
委員	現行の総合戦略と次期総合戦略（案）で、それぞれの基本目標の文言が変わった理由を説明いただけますか。
事務局	国の方針を勘案することが法律で定められており、今回国の『地方創生 2.0 基本構想』が示されたため、それに沿った形で5つの目標を設定したものです。
委員	例えば、現行の基本目標1『結婚・出産・子育てを支援し、女性の定着を図る』は、合計特殊出生率が低い現状に対して、支援を充実させるという意図が分かりやすいと感じます。一方で、新しい目標案の『若者や女性にも選ばれる安来市をつくる』は、幅が広く、少しつかみどころがない印象を受けます。人口対策を考える上で、地元での結婚・出産・子育てを促すという、より直接的なアピールが欲しいと感じました。この点について、どのようにお考えでしょうか。
事務局	この総合戦略の最終的な目的は、人口ビジョンを達成することにあります。そのためには、合計特殊出生率を2.07にすること（2045年目標）、社会増減を概ねゼロにすること（2040年目標）が不可欠です。ご指摘のとおり、基本目標1には、合計特殊出生率や出生数といった具体的な数値を意識したKPI（重要業績評価指標）を掲げる必要があると考えており、それによって委員がおっしゃるような視点を明確に示していきたいと考えています。

6. その他

事務局より、今後のスケジュールについて、資料5に沿って説明を行った。

7. 閉会

事務局よりあいさつ（宇山部長）



以上